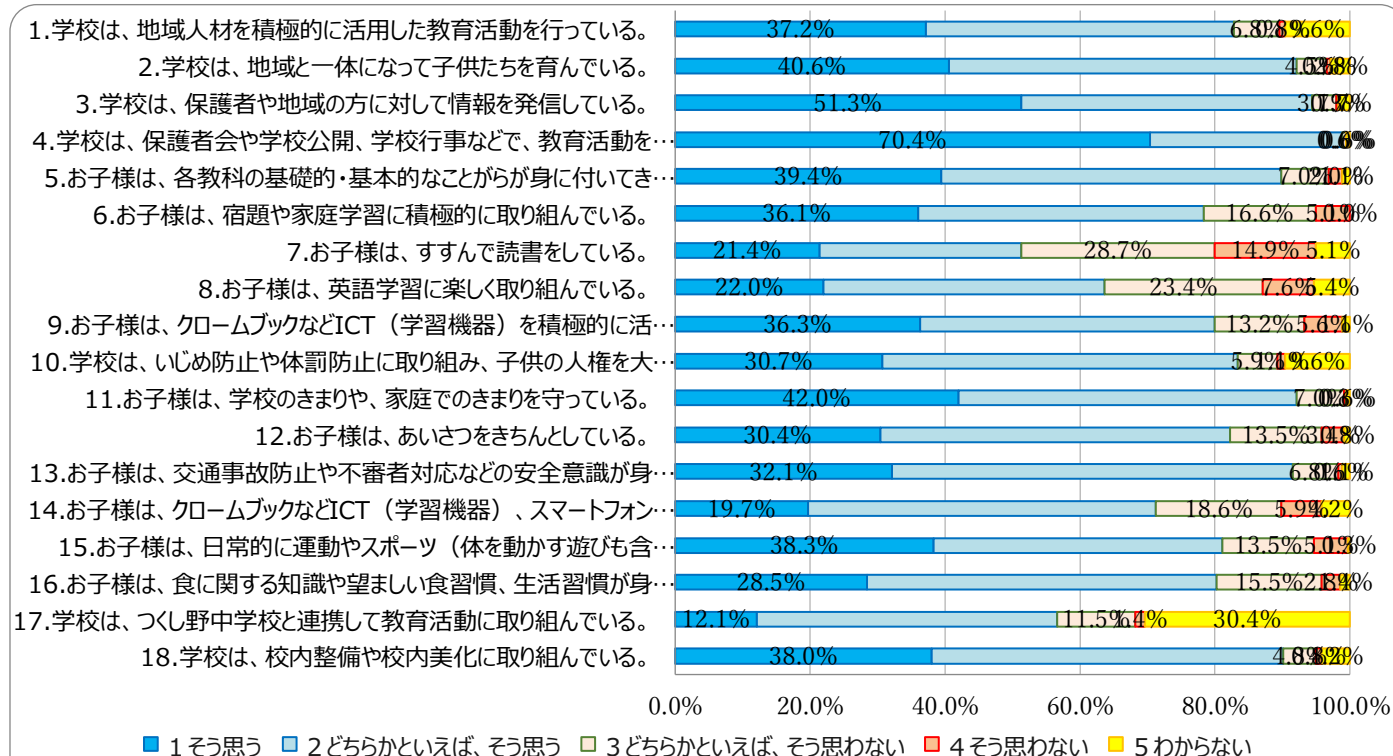


# 2025年度 学校評価 保護者・児童アンケート

2026年1月30日  
町田市立鶴間小学校  
校長 杉本 勉

2025年度の学校評価アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。1月23日（金）の学校運営協議会では、保護者の皆様からいただきましたアンケート、そして、児童・教職員アンケートの結果も参考にして、今年度の学校運営について協議しました。これらを生かしまして、現在次年度の計画の改善を図っているところです。なお、コメント欄への記載内容につきましては、ご要望に関するものだけ掲載いたしましたが、ご要望の何倍もの学校への感謝の気持ちなど、温かいお言葉も頂戴しております。これからも、保護者の皆様の声にしっかり耳を傾け、激励の言葉を大事にしながら、よりよい鶴間小学校にしていきたいと思っております。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

## 1. 保護者アンケート「本校の取組について」（集計結果）

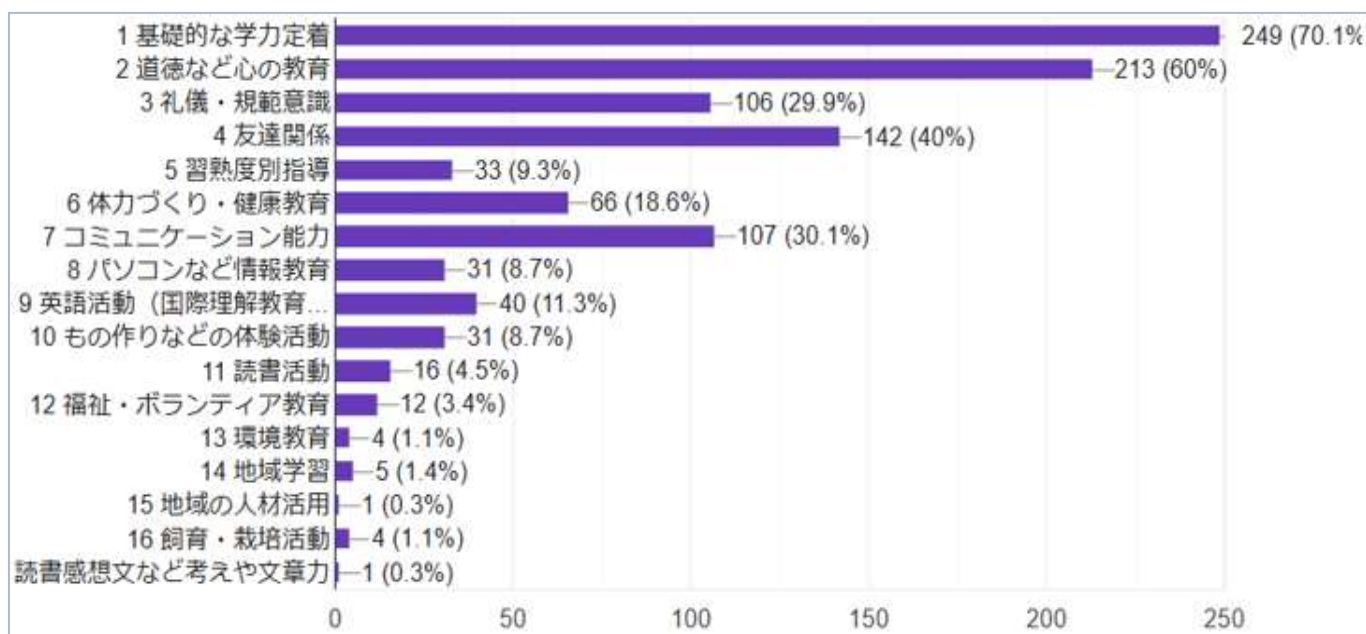


### [1. 本校の取り組みについて]

肯定的な回答（「1.大変あてはまる」＋「2.あてはまる」）の合計が80%を超えた項目が13項目にのぼり、全体として本校の教育活動への高い信頼が維持されていることが確認できました。特に「4.教育活動の公開」については98.9%という極めて高い支持をいただいております。学校公開や行事を通じた「開かれた学校」が、保護者・地域の皆様との安心感につながっていることが分かります。一方で、継続的な課題として「7.お子様はすすんで読書をしている」の項目が51.3%に留まっています。昨年度（53.3%）と比較しても微減しており、依然として全項目の中で最も低い数値です。学校内では図書時間の活用や読み聞かせ等を行っておりますが、家庭での読書習慣化には、タブレット端末やスマートフォン等の利用時間との兼ね合いなど、生活環境の変化も影響していると考えられます。今後も読書旬間の充実や図書室の利用の仕方の工夫など、子供たちが「思わず本を手に取りたくなる環境づくり」を一層推進してまいります。

また、「17.つくし野中学校との連携」については、肯定的回答が56.6%となりました。評価「5（おそらく『分からない』に相当する項目）」が30.4%と依然として高いことから、連携の具体的な中身が十分伝わりきっていない現状が見て取れます。実際には、中学校教員による出前授業や6年生の部活動体験、小中合同の教員研修会などを実施しております。今後は、こうした「目に見えにくい連携活動」についても、学校便りやSNS等を通じて積極的に可視化し、義務教育9年間のつながりを実感していただけるよう努めます。

## 2. 保護者アンケート「本校に期待する教育活動」（集計結果）



アンケートの結果、「基礎的な学力定着」への期待が 70.1%と最も高く、保護者の皆様の学習面への関心の高さが伺えます。本校では、日々の授業や家庭学習に加え、Qubena（キュービナ）等の ICT 教材を効果的に活用することで、読み・書き・計算といった基礎学力の確実な定着に引き続き注力してまいります。

次いで「道徳などの心の教育」についても 60%と多くの期待をいただいております。道徳の時間はもとより、学校生活のあらゆる場面を通じて、相手を思いやる心や豊かな人間性を育めるよう取り組んでまいります。

また、今年度は「友達関係（40%）」や「コミュニケーション能力（30.1%）」を重視する声も多く寄せられました。集団生活の中での円滑な人間関係の築き方や、自分の考えを適切に伝える力の育成は、子供たちの健やかな成長に欠かせない要素です。学級活動や行事等を通じ、互いを尊重し高め合える環境づくりを一層推進してまいります。

## 3. 保護者アンケートのコメント欄へのご意見、感想より

### 1 学校からの案内（テトル配信・お手紙など）について

- ①学校からのお知らせ、持ち物が分かりにくいという意見をいただきました。学校だよりの学年のお知らせの紙面が限られているため、十分に情報が伝わらないケースがあったと思います。お知らせしたい内容が多かったり、学校だよりの発出時期から離れていたりする場合などについては、別途それぞれの学年でお知らせする（テトル配信や学年だよりを発出するなど）こととします。
- ②行事などのお知らせの配信が遅いとのこと指摘、お知らせ内容と担任による口頭での指示に相違があるとのこと指摘については、混乱を招いてしまったことに対して、この紙面を借りてお詫びいたします。学校全体で気をつけていくとともに、誤解のないように文書でのお知らせには、複数の教員で確認するなど、十分に気を付けて発出していきます。
- ③普段の様子に関するテトル配信について、教員によって差があり、定期的に配信をしてほしいとのこと要望をいただきました。テトル配信は、各種お便り以外に、急な連絡や追加・訂正のお知らせなどがメインになります。また学級便りは、教員の裁量で行っていて、授業や児童との関わりに割く時間を大事にしたいという観点から、学校として必須事項とは考えてないことをご理解願います。その代わりに、学校 HP で日々の様子を配信させていただいてますので、そちらもご覧いただければ幸いです。

### 2 地域のボランティア・見守り活動について

- 地域との交流（体験活動など）や見守り活動が活発に行われていることに対して、地域とのつながりを強く感じ、感謝したいのご感想をいただきました。その中で、関わっていただいている方々に感謝する機会をとのご意見もいただいております。学校としても、授業時数との関連などを踏まえながら、そのような場を設定することを、今後検討していきたいと考えています。

### **3 児童の荷物について**

→ 週末に持ち帰るもの、週始めに持ってくるもので、登下校時に子供たちの両手がふさがることが多いので、持ち物の分散を検討してほしいとのご意見がありました。これについては、来年度から町田市立の全小中学校で、「荷物らくらく登校」という方針で、それぞれの教育活動に応じた児童の荷物負担軽減を図っていくことになっています。年度内に教育委員会としての実施方針をお示しますが、重さのだいたいの目安を示し、ご家庭にもご理解・ご協力を求めるものです。すでに教員に対しては、この件に関して、特に学期末などにおける計画的な荷物の持ち帰らせ方などについても気を付けて行くように指示しております。詳細は、保護者会などでも話題にいたしますので、よろしくご承知おきください。

### **4 クロムブック・キュビナについて**

- ①旧型のクロムブックの重さやタッチパネル、アプリ（キュビナ）についての課題、教員の活用能力などに関して、様々なご指摘をいただきました。町田市の方針なので、一概に学校では決められないことが多いことをご理解いただいたうえで、学校としても改善要求などは、その都度提出しております。その中で、12月より新型に切り替わりましたので、また何かご意見があれば、ご意見をいただきたいと思います。教員の活用については、得手不得手もありますが、校内での研修や町田市が提携する業者とのフォローなども活用して、日々研鑽を積んでまいりますので、ご理解願います。
- ②キュビナの運用計画（学年ごとの単元・問題数のリスト化）の提示や、キュビナでの宿題の量、プリントやドリルでの宿題を増やしてほしいなどのご意見をいただきました。キュビナの活用については、学年でしっかり統一して運用を進めていくことを再確認していきたいと思います。宿題の出し方については、「荷物らくらく登校」の観点からと、書くことの指導の見直す意味でも検討を図りたいと考えています。

### **5 児童の学力について**

- ①教員の指導力、授業の質の向上について、ご指摘いただきましたように、教員の待遇面などについては、学校でどうすることもできませんが、管理職・教育委員会としては、引き続き教員の指導力向上に向けた取組を継続してまいりたいと思います。
- ②近隣小学校との授業数の差、進学先の中学校での学力格差についてのご意見をいただきました。市内小学校の授業数については、基本的に総時数については、大きな差（あっても5時間程度）はありません。学力差があるのではというご意見については、教員の指導力の向上を図りながら、子供たちが主体的に学習に取り組む学校づくりを目指して、教職員が一丸となって日々研鑽を積んでいくことだと考えています。

### **6 児童のあいさつ（豊かな心の涵養）について**

→ 子供たちのあいさつについて、社会的規範を小学校までに身につけさせてほしいというご意見をいただきました。本校の生活指導としては、「鶴間しぐさ」という約束があり、2年目の取組として学校全体で周知徹底を図ってきています。しかし、学校外での児童の様子に反映していないとのこと、児童間の関わりの中で、ストレスを感じるような言動もあるとのことですが、学校ではそういったご指摘も活かしながら、今後も即時の対応を心がけ、各ご家庭とも連携しながら、児童の豊かな心の涵養を進めていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

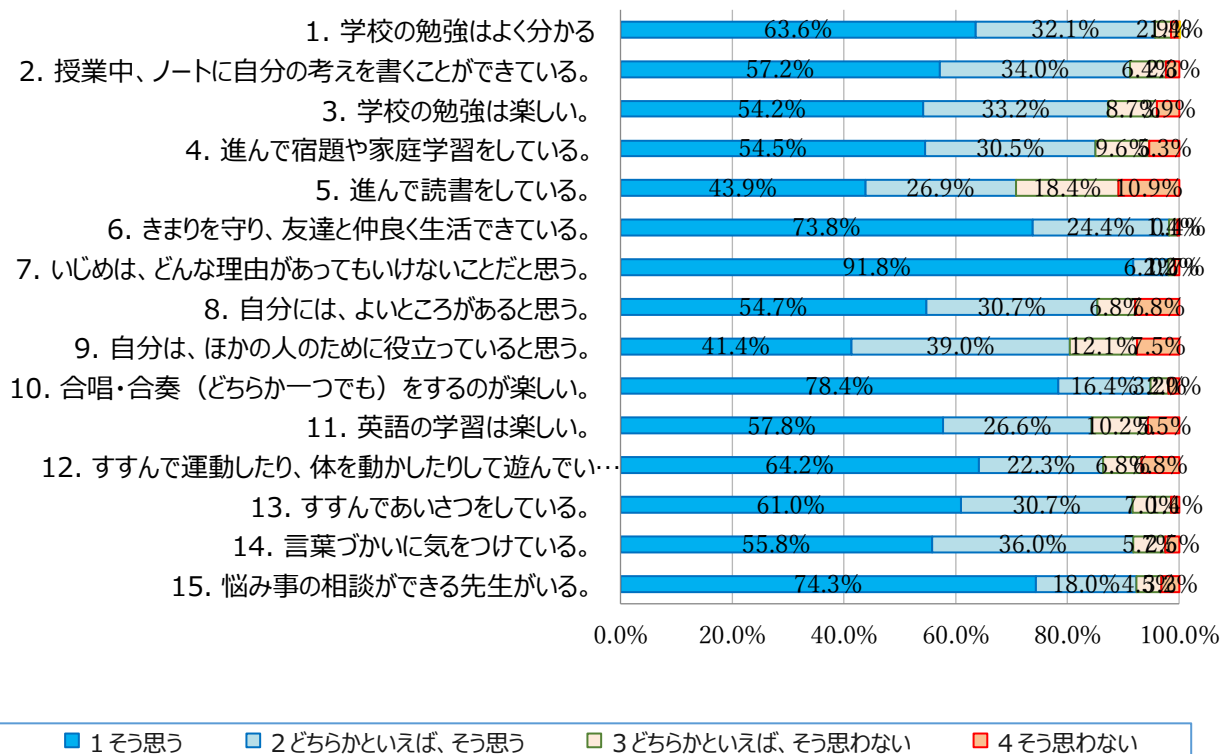
## 7 その他

- ①下校予定時刻の厳守      ②児童が相談しやすい環境の整備について
- ③鶴間小ならではの取組      ④行事や体験活動の減少
- ⑤体を動かす機会（高学年）や体育授業の手だて（低学年）
- ⑥入学式後の持ち物への短い期間での記名の要請について
- ⑦情報セキュリティの課題      ⑧情報の提供について
- ⑨保護者のマナー・リテラシー向上について      ⑩個別の教員の指導に関すること

- ①下校予定時刻より早く下校して、自宅玄関前で待っていたことがあったということですが、今後間違えないようにいたします。
- ②中高学年の保護者の方より要望がありました。児童の様子を丁寧に見取り、適切な言葉かけができるように心掛け、学年や副担任、SC（スクールカウンセラー）管理職も含めて、児童がいつでも誰にでも話しやすい雰囲気づくりを行っています。
- ③鶴間小の児童の学習に取り組む姿勢がよいという好意的な意見から、特色のある取組をというご意見で、大変ありがたく思っております。そのうえで、どんな活動が本校の特色になるのかを、教職員全員で模索していきます。
- ④コロナ以降、学校行事については確かに簡素化し、体験的活動が減ったという現状はあります。一方で、本校では地域の教育資源を活用した学校地域協働の活動が盛んですので、さらに充実していけるように協力を要請していきます。
- ⑤高学年は委員会活動などで休み時間が割かれてしまう、低学年の体育の球技の授業では、運動のできる児童ばかりにボールが集中して活躍の機会が偏るというご指摘をいただきました。教員の配慮に尽きるところだと思いますので、今後に生かしていきたいと思います。
- ⑥保護者のご負担は重々承知でお願いしている現状があります。事前にお渡しする機会がなく（2月の説明会には配布物が揃わないため）、入学式当日にお渡しするしかないのですが、ご家庭の状況に合わせて、すぐに必要な物だけ記名するなど、担任と相談していただき、ご準備いただければと思います。
- ⑦本校の行事写真の撮影を委託している写真屋さんが提携していた、販売サービスの会社での情報漏洩の可能性の件でご意見をいただきました。大変ご心配をおかけしました。学校としては、教育委員会には直ちに連絡をとって調査を依頼したところ、市内でも同じサービス会社と提携していた写真屋さんが多数あって、注意喚起がなされました。漏洩の問題はないとのことでしたが、引き続き、業者には適切な説明を求めながら、保護者の皆様に安心していただけるように努めていきます。
- ⑧学級閉鎖や児童数の増加に伴う、今後の校舎などの配置などの計画について、情報を提供してほしいとの要望がありました。情報として提供できるものとできない（未定のため伝えられない）ものの精査をしたうえで、知っておいてもらいたいもの、必要なものはお知らせしたいと考えています。ちなみに、学級閉鎖の情報は感染拡大の観点から情報提供が不可欠だと考え提供しました。教室の増築などの計画は具体的に決定（教育委員会の方針に基づく）してないので、提供できない状況です。
- ⑨学校（管理職）から声を出してほしいという要望だと受け止めました。学校としては、基本は児童の指導が中心ですが、各ご家庭へのご理解・ご協力があつての教育活動でもありますので、マナーやネットリテラシーなどの啓発活動、紙面などでのお願いなどは、引き続き行っていきたいと考えています。
- ⑩個々の教員に対する、様々なご意見・ご指摘については、こちらの紙面からの回答は控えさせていただきますが、内容につきましては、当該教員だけでなく、広く教職員全体でも真摯に受け止めていただきました。教職員の言動や公開授業、引き渡し訓練での対応、面談の内容など、改善する点については、管理職からも指導を進めております。

今後も何かご意見などありましたら、遠慮なくご連絡いただき、改善や情報共有を進めていきたいと考えておりますので、よろしく願います。その際は、時間が許されるのであれば、ぜひ対面でもお話をいただければありがたいです。

#### 4. 児童アンケート（集計結果）



#### 〔児童アンケートについて〕

どの項目も、「1、そう思う」、「2、どちらかといえばそう思う」と答えた児童の割合が高い結果となりました。特に、質問項目「1、学校の勉強はよく分かる」、「6、きまりを守り、友達と仲良く生活できている」、「7、いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」について、95%以上の児童が肯定的にとらえています。今年度から学校で取り組んでいる、「右しずか」や「時まもり」などの「つるましくさ」の定着が少しずつ見られ、児童のきまりを守る意識が高まっているように思われます。また日頃から、いじめは絶対にしてはいけないことを全教職員で指導しているため、児童の意識の中にも「いじめはしてはいけないこと」と、定着している様子が分かりました。

一方、「5、進んで読書している」は70.8%と他の項目よりも数値が下がっています。今年度から始まった、読書旬間での親子読書の取り組みや、朝の読書タイムを活用して、読書の楽しさを児童が味わえるように工夫していきたいと思ひます。また、児童が図書室を活用し、読書をする時間を確保していきたいと思ひます。今後も、親子読書やご家庭での声掛けなどのご協力をお願いいたします。